

## 石巻復興支援ネットワーク 第5期(2015年4月～2016年3月)事業計画

	事業名	事業の目的	事業実施日時・期間	事業実施場所	事業内容(予定)	事業マネージャーおよびスタッフ
1	Eyes for Future by ランコム	石巻地域の女性の自立と社会参画を推し進め、それにより、復興とその先のまちづくりにおける力とする。	2015年4月～9月	石巻市内の会場	○石巻市及びその周辺の市町村に住む女性に対し、講座の実施や起業家支援を行う。	新スタッフ？ 後藤美穂
2	子育てママ応援コミュニティカフェ運営事業	地域の母親たちが気軽に集い、悩みを共有できるコミュニティスペースを運営することで、子育て中の母親たちの孤立を防ぐとともに、積極的に活動する母親たちのチャレンジを応援し、子育てしやすいまちづくりを進める。	通年(前期からの継続事業)	Café Butterfly(石巻市)	○ママスタッフによるコミュニティカフェの経営 ○ママたちが講師を務める癒し系イベント「癒しデー」の実施	新スタッフ、 高橋亜樹、 秋山美佳子
3	ママ・子ども支援事業	被災した子どもたちや母親の孤立感やストレスを軽減し、自己肯定感を得る機会を作るとともに、積極的に活動する母親たちのチャレンジを応援し、子育てしやすいまちづくりを進める。	通年(前期からの継続事業)	石巻市及びその周辺地域	○ブレーバークの実施(ジュニアリーダーサークル「げろっぱ」への委託) ○NPプログラムの実施 ○入学お祝い金の募集と配布	秋山美佳子、 後藤美穂
4	石巻子育て支援団体ネットワーク会議		通年(前期からの継続事業)	石巻市及びその周辺地域	○石巻の子育て応援ポータルサイト( <a href="http://www.ikosodate.info/">http://www.ikosodate.info/</a> )の運営、FBページでの「子ども・子育て支援情報の収集と発信。 ○カルビーやっべすママこども基金の実施 石巻の子育て支援団体を対象に、1団体5万円～10万円程度×9団体程度の助成金を交付する事務局業務を担う。 ○ママフォーラムの開催(6月)	秋山美佳子
5	Amanecer	小さな子どもがいる母親は自分のベースで働く場所がなく、外にもなかなか出られない。そういう方が閉じこもっていく状況を改善し、雇用や外に出来る機会、社会参画の実感を持たせる。	通年(前期からの継続事業)	石巻市内 (販売先は全国)	○被災した女性が製作するアクセサリーブランドの運営 ○上記アクセサリー製作の内職コーディネート。 ○上記アクセサリーのECサイトと直販、イベントを通じた販売。	兼子政慶、 松坂久子
6	おうちしごと事業(旧:生きがい仕事づくり事業)		通年(前期からの継続事業)			
7	グッズ販売事業	震災から4年を迎える、被災地に対する関心が徐々に薄れつつあり、また東日本大震災の教訓が風化し、防災や減災への意識も薄れてきている。当事業では、各種グッズの販売を通じて、被災地と被災地外の人々が関わる機会を生み、これらの現状を改善することを目的としている。	通年(前期からの継続事業)	石巻市内 (販売先は全国)	○当団体が扱う復興応援商品その他の販売(無事かえりシリーズ、「やっべす!石巻」CDおよび楽譜、「石巻復興節」CD、ストラップなど)。	兼子政慶、 松坂久子
8	やっべす隊がやってくる！(仮設住宅を中心とした地域全体のコミュニティづくり事業)	仮設住宅での暮らしが長期化する反面、行政や支援団体による支援は先細りしている。当事業は、仮設住宅の住民とその周辺住民との自立したコミュニティの形成と維持を支援することで、住民の孤立化や孤独死を防ぐことを目的としている。	通年(前期からの継続事業)	開成1～14団地、南境7団地集会所、水貫農園(石巻市南境水貫前5-1)	○月に10回程度のイベント開催、サロン活動。 ○仮設住宅団地周辺の農地を借り、市民農園を運営する。	小松佳代子、 戸田香代子
9	復興公営住宅でのコミュニティづくり事業	今年度からの仮設住宅から復興公営住宅への移行に伴い、復興公営住宅に入居する住民とその周辺住民との自立したコミュニティの形成と維持を支援することで、住民の孤立化や孤独死を防ぐことを目的としている。	通年	石巻市内の復興公営住宅	○復興公営住宅での活動開始に係る、市役所や関係機関、団体との調整。 ○復興公営住宅の集会所等でのイベント開催、サロン活動。	小松佳代子、 戸田香代子

## 石巻復興支援ネットワーク 第5期(2015年4月～2016年3月)事業計画

	事業名	事業の目的	事業実施日時・期間	事業実施場所	事業内容(予定)	事業マネージャーおよびスタッフ
10	石巻に恋しちゃった!事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域や人の魅力の再発見と創出を行い、地域愛を育むと同時に活性化へと繋げる。</li> <li>○趣味や特技をテーマとした地域内の交流を育むことで、コミュニティの繋がりを強化する。</li> <li>○地域住民の小さな一歩を応援し、出番を作ることで、震災後に失われた自信の回復を促す。</li> <li>○誰もが達人として活躍できる場を用意することで、地域内に新しいことにチャレンジしやすい土壤をつくる。</li> </ul>	通年(前期からの継続事業)	石巻市、東松島市、女川町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人の趣味や特技、地域の魅力を活かした体験プログラムを一定の期間に実施し、地域資源・人材の発掘と育成を行う。</li> </ul>	戸田香代子、小松佳代子、伊藤知美
11	地域起業・新事業活動拠点支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における新規事業の立ち上げや継続を支援する拠点を創り、事業の拡大や効率化のためのフォローアップ体制を作ることで、復興を加速させる。</li> </ul>	通年(前期からの継続事業)	Coworking@Ishinomaki(石巻市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コワーキングスペース運営事業 地域において起業者等が集まり、事業の検討・活動を行い、オフィス環境を共有することで事業化への相乗効果を目指すコミュニティ・スペース(コワーキングスペース)を運営する。</li> <li>○創業支援事業 起業者等に対する経営、財務、人材育成、販路開拓等の知識が身につく研修・セミナー等の開催及び経営に関する相談・指導を行う。</li> <li>○起業者交流促進事業 地域において起業意欲の醸成と起業者間ネットワークの形成を図るため、起業者間の交流イベント等を行う。</li> </ul>	兼子政慶
12	石巻地域における地域協働推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の市民活動団体と行政、あるいは市民活動団体同士の協働・継続を図ることで、市民参加による復興と地域の課題解決の加速化を促す。</li> </ul>	通年(前期からの継続事業)	石巻市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2015年度から、いしのまきNPOセンター主導で発足予定の市民活動団体の協議体に参加し、行政と市民活動団体、市民活動団体同士の協働に向けて協力をを行う。</li> </ul>	山口智大

## 石巻復興支援ネットワーク 第5期(2015年4月～2016年3月)事業計画

	事業名	事業の目的	事業実施日時・期間	事業実施場所	事業内容(予定)	事業マネージャーおよびスタッフ
13	石巻復興コーディネート事業	被災地のニーズと被災地外の支援ニーズとをマッチングすることで、震災の風化を防ぐとともに、復興を加速させ、より柔軟な地域づくりへと繋げる。	通年(前期からの継続事業)	石巻市及びその周辺地域	○被災地での支援活動を希望する個人、企業、NPOに對し視察、ボランティア、研修などのプログラムを企画し、提供する。	渡部慶太、山口智大
14	広報事業	石巻の復興の現状や課題、団体活動の進捗を報告、発信することで、支援の継続や新たな支援の獲得に繋げるとともに、震災の風化を防止する。	通年(前期からの継続事業)	石巻市内 (広報先は全国)	○メルマガ(やっべす通信)の発行(月1回) ○ブログやFB、Twitterでの情報発信 ○「やっべすの輪、活動報告会」 ・関東方面の支援者に向けた東京等での定期的な報告会を開催し、サポーター制度や協働を含めた活動への関わり方について意見交換を行う。 ○年次報告書(2014年度)の作成(6月発行予定) ○各種取材、調査やアンケートへの対応	兼子佳恵、渡部慶太、山口智大、やっべすの輪
14	やっべす本出版事業	発災から5年を迎える2016年3月に、これまでの5年の活動を振り返り、今後の活動の方向性を示すとともに、この間に得た経験やノウハウを他地域や次世代に繋げる。	通年	石巻市内 (出版先は全国)	○「やっべす本出版」 ・団体の活動の歴史をまとめた書籍を2016年3月に発行し、収益は今後の活動資金の一部とする。 ・また、その書籍をもとにした講演活動(イベント)などを行う。	渡部慶太
15	やっべす組織基盤強化事業	組織体制の見直し(事務スタッフの雇用を含む)、ルールや規約の整備、目標管理など組織内部のマネジメントを高め、事業推進力を向上させるとともに、スタッフがより力を發揮し、成果を生み出せる組織づくりを行う。 また、組織の基盤強化を行うことにより、自主財源率の向上と自立的、自律的な組織経営を目指す。	通年	事務所	○サポーター制度とDBの活用 ○ウェブサイトの改訂 ○2016年度以降の中期計画策定にむけたmtg ○規定およびルールの策定 ○目標管理制度の策定(PDCA)	山口智大、兼子佳恵、萱場祐子、
16	管理部門および共通	適切な事務局業務と、その仕組み作りを行うことで、活動の成果を最大限に高める。	通年	事務所	○理事会、総会の開催とその準備 ○監督官庁への報告 ○各種調査やへの対応 ○事業計画と事業報告の作成 ○総務 ○経理 ○人事(新スタッフの募集)	兼子佳恵、山口智大、萱場祐子